

京都府立大学生協
オープンキャンパス（洛いもソフトクリームの販売）



[新学期]

取り組み概要

日時：2023/7/22（土）7/23（日）
11:00~14:30
場所：京都府立大学 合同講義棟地下1階
組合員の反応：2日間で275個完売

概要：今年度初めて販売。Point1に記載の通り、大学のお声かけを受けたことが契機となった。「洛いも」は、京都府立大学生命環境学部と、京都府精華町との連携により開発されたヤマイモ（品種：ダイショ）を指す。「洛いも」の詳細はこちらから→



即完売！大学との協同がカタチになった人気商品

POINT.1 大学から、卒業生から、協同の輪は巡り巡って

「利益に関係なく、美味しいものを提供したい」京都府立大学生命環境学部では、栽培研究が行われています。今回の企画は、大学からのお声かけを受けたことが始まりとなりました。

ソフトクリームでお馴染み、株式会社日世とコラボするようになったのは、社員の方に卒業生がいらっしゃったから。

大学からのご縁が回りまわって、実現に至ったこの企画。生協だけ、大学だけではなく、生協と大学が手を取り合っ、商品がカタチになりました。協同の輪が多方面から集まっていますね。



POINT.2 あえてオープンキャンパスを選んだ意味



京都府立大学のオープンキャンパスでは、2日間で総計約3000人の来場者が訪れます。オープンキャンパスで試験販売を実施した理由は、より多くの人に食べてもらえるから。当初は、該当学部である生命環境学部（1日目）のみを予定していましたが、大学からの提案により、両日で販売することが決定。他学部を志望する来場者含め、より多くの人に食べてもらえるきっかけになっていました。学びの成果が、多くの人の目に留まる場で販売されていると、思わず買いたくなりますね。

POINT.3 大学からの後押しがあったからこそ

「お声かけを受けた当初、大学生協側は、どうしよう、と懸念していました。それでも、最終的に実行できたのは、大学に背中を押していただいたから」お話を伺った際に仰っていた、店長さんの言葉です。

京都府立大学生協の強みは、何と言っても大学との連携の深さ。日頃から、大学とのコミュニケーションが盛んに行われており、教授の方が生協職員を訪ねることも珍しくありません。京都府立大学生協と京都府立大学で互いに連携した企画づくりとなっていました。

開店前から長蛇の列ができ、目玉商品となった当商品。来年度も販売される方向となっているそうです。



つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [和田 明日香]
Wada.Asuka@univ.coop